

街角とあなたをネットする暮らしと文化の情報紙

まちかど

● 荏原第一地域新聞 ●

第215号

令和5年(2023)4月発行

発行・事務局

○荏原第一地域センター○

小山3-14-1 (〒142-0062)

TEL 3786-2000

FAX 3786-5385

花めぐり

ヤマブキ

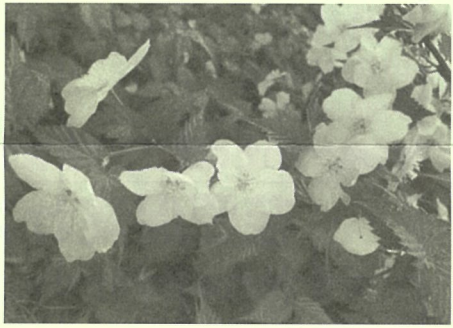
木々も伸びやかに葉を伸ばす4月。鮮やかな黄色の花を咲かせるヤマブキは太田道灌の逸話でも知られます。

江戸城築城でも知られる太田道灌。鷹狩りの折り突然の雨に蓑を借りようと民家に立ち寄ると、対応した娘は黙って山吹の一枝を差し出し、下がってしまいました。道灌は訳もわからず腹立たしく思いながら城に帰り、家臣にその話をする。「七重八重花は咲けども山吹の実の一つだに無きぞ悲しき(兼明親王)」という和歌に託して(実の→蓑)がないことを告げたのだと知らされました。道灌は古歌を知らなかったことを恥じその後、歌道に励んだということです。

その山吹の花。八重の花は雄しべが花弁に変化し雌しべも退化したため実がなりません。一重の花は小さな実が数個まとまってつきます。

花言葉は気品、崇高、金運など。

(小山一丁目 河原 マサ江)



昨年中原公園にて撮影

感染症の影響で3回中止になりました。この祭りは地域を盛り上げ、交友の場を広げてほしいという町会の皆さんの思いから始まりました。4年ぶりの開催ですが、例年行っている粋鼓囃子やバザーは、残念ながら今年実施できません。バザーの収益金は毎回品川区子ども未来部に寄付させていただいていました。緑道公園の会場には、コヤヨン焼き、やきそば、クレープ、飲み物やゲームコーナー等の模擬店がずらりと並び、家族連れや子供たち、老若男女で大変賑わいます。1番人気のコヤヨン焼きは卵1個丸ごと入っている手のひらサイズのお好み焼きです。豚バラキャベツにかつおだし、山芋粉、糸かつお等々が入ったこだわりの一品です。また、園児や小学生に人気のゲームは鳳友会メンバーの手作りでアイデア満載の楽しいものになっています。コロナウイルス感染症対策の備えを万全にしての開催となりますが、皆さん5月第2土

今年、関東大震災(大正12年9月1日)から100年を迎えるにあたり、地震に対する防災意識が高まっています。東京都では首都直下地震を想定した災害に備える呼びかけをしています。しながわ防災学校」でも「防災区民組織コース」の開催と共に「首都直下地震に備える」と題したわがまち(荏原第一地区)における地域実践コースが開催されました。まず参加したのは昨年6月に品川区役所に併設される「しながわ防災体験館」にて開催された「防災区民組織コース」の「地域防災ベーシックコース」です。講習では災害から生き延びることを目的として、災害時の正しい知識や技術の習得と防災意識の向上を図る体験ができる施設での講習会でした。講習内容は、地震および風水害を想定した身の回りの危険について整理すると共に、災害対応の流れと避難の考え方を教わる他、実技としてスタンドパイプを使った消火訓練、AEDを用いた救命訓練、さらには、避難誘導訓練を行いました。講習を通し、我が家の防災の他にも災害時には近所で取り組む助け合いの大切さを知ることができ、日頃から近所の「顔の見える関係」の大切さを、我がこととして受け



小山四丁目町会主催の「コヤヨン祭り」は毎年5月に開催されていますが、新型コロナウイルスの影響で3回中止になりました。

武蔵小山緑道公園にて



曜日のコヤヨン祭りには是非参加して楽しんでください。(小山四丁目・東 美佐栄)

「しながわ防災学校」に参加して



高齢者クラブ紹介

松寿会 (小山五丁目町会)



小山五丁目松寿会は、昭和49年2月に発足し、小山五丁目に居住している60歳以上の方を対象に、会員数は現在90名強を数えます。

会員の方々の健康で豊かな生活とその質の向上を図り、様々な活動を通じて地域に貢献することを基本方針としています。私は昨年4月に新たに

会長に就任しました。

毎月、手芸、踊り、カラオケ、輪投げなどのサークル活動のほか、地元の三谷八幡神社の清掃、町内の緑化推進、児童の見守りを実施。また、会員相互の懇親のため、誕生日会や新年会などを開催しています。

輪投げは大会で、ここところ常に上位に入り、午後の部で優勝するなど頑張っていますが、今年の成績は若干低調です。次の大会での活躍が期待されます。

カラオケなどは活動場所が閉鎖になったり、再開したりで、コロナ禍において、思った取り組みができないことが悔やまれます。早く通常に戻ることを切に願うばかりです。皆様の入会と参加を心よりお待ちしております。

(松寿会会長・山本 淳一)

品川平塚剣友会⑪ 少年達と三年振りの納会を得て

令和4年12月26日に3年ぶりに子供たちと納会を行いました。かつては、子供たちとの交流に夏の合宿、納涼会、そして年末の納会を設けて、先生たちと子供たちがお話のできる場を設けてきました。今回、3年を越えてやっと実現ができました。こんな時期ですので子供の参加は約半数でしたが、コロナウイルス感染対策をしながら、和やかに行われました。

最初は年間の報告や、来年の計画等を発表した後、全日本剣道連盟から頂いた少年剣道教育奨励賞の日本武道館を描いた剣道手拭いを参加者に贈り、子供達には1年の反省と来年の願いを話す恒例の発表をしてもらいました。順番は子供達に自発的に決めさせ、皆楽しそうに話す姿を見て、納会を楽しみにしてくれていたのだと安堵いたしました。発表は笑いがあり、感動ありの一面面でした。(荏原三丁目 池田 晴夫)

